

経験から未来へ

～311の制度や支援 生み出されたものと残された課題～

オンライン
参加可能
(ZOOM使用)

ヒラエスは昨年度より 311 の経験が次の災害へも活かされるよう新たな支援プロセスの構築に取り組んできました。本フォーラムでは完成した支援プロセスを紹介いたします。また、その構築過程から見えてきた「残された課題」についても全国の皆さまとディスカッションできたらと思っています。復興（回復）の概念が官民で共通認識され人の力が循環して自立（自律）を支える未来へつながる事を目指したフォーラムを開催いたします。

2024年9月14日(土)

13:30～16:30 (受付13:00～)

会場：TKP東京駅カンファレンス
センター
(カンファレンスルーム11D)
東京都中央区八重洲1-8-16
新槇町ビル

定員：現地参加20名
オンライン参加15名

参加費：無料

※本事業はYahoo!基金 被災地復興支援助成事業の支援により実施いたします

プログラム内容

オープニング

1. 「支援プロセス」と残された課題

ヒラエスがこれまで行ってきた活動および昨年度より取り組んできた「支援プロセス」の完成披露、構築の過程で見えてきた残された課題について発表いたします。

2. 「支援プロセス」の効果検証総評 講師：甲田宗良先生
支援プロセスを実践した報告書をもとに、徳島大学准教授（心理学）甲田宗良氏より支援プロセスの効果検証結果について分析と考察をいただきます。

講師プロフィール：甲田 宗良（こうだ むねなが）

徳島大学大学院社会産業理工学研究部講師／1984年京都生まれ。琉球大学にて臨床心理学を専攻。沖縄県内の心療内科や大学病院に勤務し精神疾患の治療と研究に従事。2014年～2018年に現：沖縄県公認心理師協会において被害者支援・災害対策担当理事を務め、避難者支援活動にも携わる。専門は臨床心理学。公認心理師／臨床心理士

3. パネルディスカッション

テーマ「マインドが引き継がれる行政支援」
パネラー：沖縄県浦添市 総務課 課長 上間尚二氏 ほか
ファシリテーター：津賀 高幸氏 (JCN)

4. グループワーク

「未来へ活かされ循環する支援の在り方」についてグループにわかれてワーク・共有します。 ※オンライン参加者は自由参加

クロージング

